

PFAS低減を図る活性炭の投入が完了

金武町浄水場で、5月31日に1回目、6月22日に2回目、7月15日に3回目の、有機フッ素化合物（PFAS）低減を図るための活性炭投入が行われました。今回で3か所ある「ろ過池」の全てに、合計22立法メートルの活性炭が投入されました。活性炭がPFASを吸着することで数値が低減され、投入後の検出状況は下記のとおりとなっています。今後、定期的な水質検査でPFAS除去の効果を検証しながら、安全・安心な水道水供給を行ってまいります。



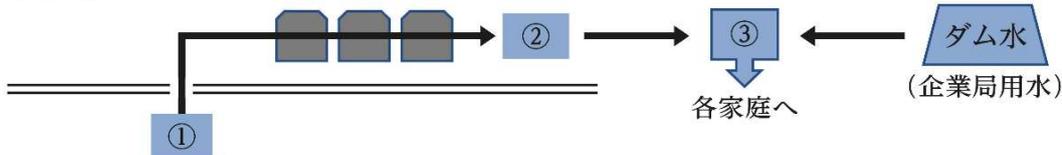
▲3回目の活性炭投入の様子



▲砂の上に活性炭を敷設する様子

【水道水供給の流れ】

地下水をろ過池に敷き詰めた活性炭によりPFASを低減させ、さらに企業局用水と混ぜることで、数値を下げる。



活性炭投入後のPFOS等の検出状況

単位：ng/L

採水日	①地下水	②浄水池 (ろ過後)	③水道水 (企業局水混合)	低減率
6月 8日	17	38	8	52.9
6月15日	62	39	14	77.4
6月28日	44	18	16	63.6
7月28日	34	1未満	1未満	97.0
8月 4日	17	2	1未満	94.1
8月10日	41	1	1未満	97.5

